

令和5年度 静岡県

クリーニング師試験問題

(指示があるまで開いてはいけません。)

解答上の注意

- 1 試験問題の数は30問で、解答時間は80分です。
- 2 解答は、「解答用紙」に記入してください。
- 3 それぞれの問題には、3つの答えが書いてあるので、その中から適切なものを1つ選び、該当する□の中に○印を記入してください。

(例) 【問題】 静岡県の県庁所在地として、正しいものはどれか。

- 1 沼津市
- 2 静岡市
- 3 浜松市

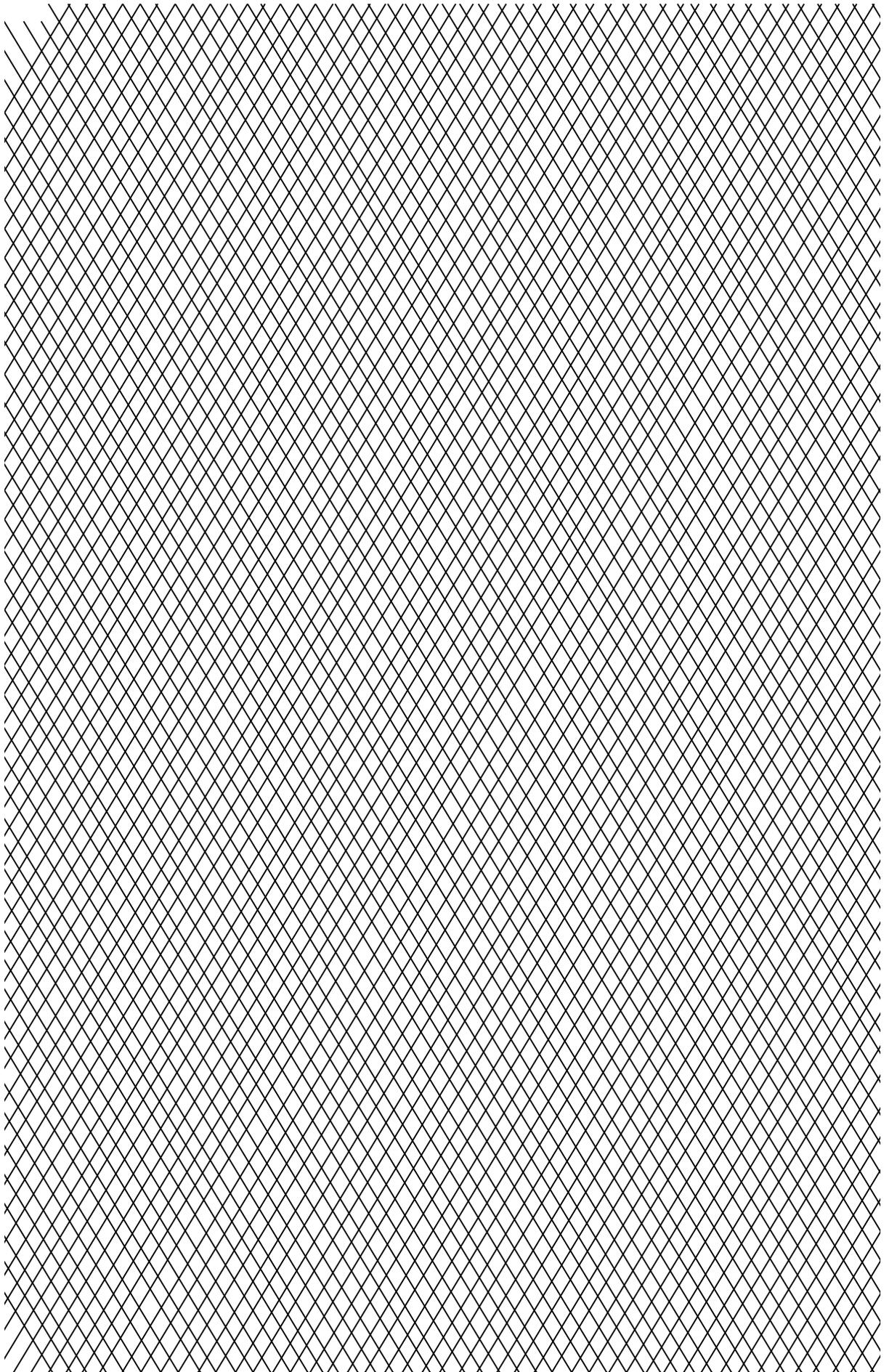
正解は静岡市なので、解答用紙には次のように記入してください。

1

2

3

- 4 1つの問題に対して2つ以上解答した場合は、不正解です。誤って記入した場合は、消しゴムで完全に消してから記入してください。
- 5 問題は持ち帰って構いません。
- 6 その他試験については、試験係員の指示に従ってください。



衛生法規に関する知識

**〔問題 1〕 次のクリーニング業法第1条についての記述のうち、()
にあてはまる語句の組合せとして、正しいものはどれか。**

この法律は、クリーニング業に対して、(ア) 等の見地から必要な指導及び取締りを行い、もってその経営を(イ) に適合させるとともに、(ウ) の利益の擁護を図ることを目的とする。

- | | (ア) | | (イ) | | (ウ) |
|---|-------|----|-------|----|-------|
| 1 | 環境衛生 | —— | 公共の福祉 | —— | 営業者 |
| 2 | 公衆衛生 | —— | 施設の基準 | —— | 営業者 |
| ③ | 公衆衛生 | —— | 公共の福祉 | —— | 利用者 |

〔問題 2〕 次のクリーニング業法における定義についての記述のうち、誤っているものはどれか。

- 1 「クリーニング業」には、溶剤又は洗剤を使用して、衣類その他の繊維製品又は皮革製品を解体して洗濯する洗張りは含まれない。
- 2 「クリーニング師」とは、都道府県知事がクリーニング師試験に合格した者に与える免許を受けた者をいう。
- ③ 「クリーニング所」とは、洗濯物の処理を行う施設のみをいう。

〔問題 3〕 次のクリーニング業法における営業者の衛生措置等についての記述のうち、正しいものはどれか。

- ① 営業者又はクリーニング師の監督の下であっても、クリーニング所以外において、営業として洗濯物の処理を行ってはならない。
- ② 伝染性の疾病の病原体による汚染のおそれのあるものとして厚生労働省令で指定する洗濯物を取り扱う場合においては、他の洗濯物と区分してあれば、消毒の必要はない。
- ③ 洗濯物の洗濯をするクリーニング所には、業務用の機械として、乾燥機を必ず備えなければならない。

〔問題 4〕 次の伝染性の疾病の病原体による汚染のおそれがあるものとしてクリーニング業法施行規則で規定する洗濯物のうち、誤っているものはどれか。ただし、いずれも営業者に引き渡される前に消毒されていないものとする。

- ① ホテルで使用された寝具
- ② 公衆浴場で使用された貸タオル
- ③ 家庭で使用されたおむつ

〔問題 5〕 次の利用者に対する説明義務等についての記述のうち、誤っているものはどれか。

- 1 営業者は、洗濯物の受取及び引渡しをしようとするときは、あらかじめ、利用者に対し、洗濯物の処理方法等について説明するよう努めなければならない。
- ② 無店舗取次店においては、苦情の申出先となるクリーニング所又は無店舗取次店の名称、営業者の住所並びに電話番号を記載した書面を配布する必要はない。
- 3 クリーニング所においては、苦情の申出先となるクリーニング所の名称、所在地、電話番号を店頭に掲示するとともに、洗濯物の受取及び引渡しをしようとする際に、当該掲示事項を記載した書面を配布しなければならない。

【問題 6】 次のクリーニング業法における営業者の届出についての記述のうち、()にあてはまる語句の組合せとして、正しいものはどれか。

営業者は、都道府県知事に届け出たクリーニング所の位置、構造設備及び(ア)並びに(イ)その他必要な事項に変更が生じたとき、又はクリーニング所を(ウ)したときは、速やかに都道府県知事に届け出なければならない。

- | | (ア) | (イ) | (ウ) |
|---|--------|------------|-----|
| 1 | 従事者の氏名 | クリーニング師数 | 廃止 |
| ② | 従事者数 | クリーニング師の氏名 | 廃止 |
| 3 | 従事者の氏名 | クリーニング師の氏名 | 休止 |

【問題 7】 次のクリーニング業法におけるクリーニング師の免許についての記述のうち、正しいものはどれか。

- ① クリーニング師が死亡し、又は失そうの宣告を受けたときは、戸籍法に規定する届出義務者は、1月以内に免許証を与えた都道府県知事に返納しなければならない。
- 2 免許証の再交付を申請した後、失った免許証を発見したときは、自ら廃棄しなければならない。
- 3 クリーニング師は、クリーニング師原簿の登録抹消を申請して、自発的にクリーニング師の身分を失うことができるが、一度登録を抹消すると再度クリーニング師の身分を取得することはできない。

【問題 8】 次のクリーニング業法第8条の2に規定するクリーニング師の研修についての記述のうち、誤っているものはどれか。

- 1 クリーニング師は、研修を受講することにより、業務従事者に対する講習を受講したものとみなされるため、重ねて業務従事者講習を受講する必要はない。
- 2 営業者は、そのクリーニング所の業務に従事するクリーニング師に対し、研修を受ける機会を与えなければならない。
- ③ クリーニング所の業務に従事するクリーニング師は、業務に従事した後5年以内に研修を受けなければならない。

【問題 9】 次のクリーニング業法における都道府県知事による立入検査についての記述のうち、誤っているものはどれか。

- 1 立入検査は、クリーニング所及び業務用の車両に対して行うことができる。
- 2 立入検査を拒み、妨げ又は忌避した者は、2,000円以下の罰金に処される。
- ③ 都道府県知事は、営業時間外に犯罪捜査のための立入検査を行うことができる。

【問題 10】 次のクリーニング業法における営業停止処分等についての記述のうち、都道府県知事が措置命令に従わない営業者に対して命ずることができるものとして、正しいものはどれか。

- 1 期間を定めない営業の停止
- ② 期間を定めたクリーニング所の閉鎖
- 3 期間を定めた業務用車両の営業外業務を含む使用の停止

公衆衛生に関する知識

[問題 11] 次のウインスローの定義による公衆衛生についての記述のうち、() にあてはまる語句の組合せとして、正しいものはどれか。

公衆衛生とは、環境衛生の改善、伝染病の予防、個人衛生の原則についての個人の教育、疾病の(ア)と治療のための医療と看護サービスの組織化、および地域社会のすべての人に、健康保持のための適切な(イ)を保障する社会制度の発展のために、共同社会の組織的な努力を通じて、疾病を予防し、(ウ)、肉体的、精神的健康の能率の増進をはかる科学であり、技術である。

- | | (ア) | | (イ) | | (ウ) |
|---|------|----|------|----|--------|
| 1 | まん延 | —— | 文化水準 | —— | 趣味に興じ |
| ② | 早期診断 | —— | 生活水準 | —— | 寿命を延長し |
| 3 | 研究 | —— | 所得水準 | —— | 犯罪を抑止し |

[問題 12] 次のクリーニング店における感染症対策についての記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① カウンターで利用者から洗濯物を預かる場所は、汚れにくいので、終業時に拭き掃除を行うだけで、清潔を保つことができる。
- ② 拭き掃除に加え、消毒用エタノール、界面活性剤などを使ってふき取ると、細菌やウイルス除去に効果的である。
- ③ 消毒剤を直接噴霧することは、環境表面に散布むらができることと、吸入した際の人体への影響があることから、推奨されない。

[問題 13] 次のクリーニング業がかかわる感染症についての記述のうち、誤っているものはどれか。

- 1 セレウス菌の集団感染事例の中には、病院からリネンの洗濯を委託されていたリネンクリーニング業者の洗濯機が原因と疑われる事例が報告されている。
- 2 セレウス菌は、極めてまれに菌血症の原因となるので、極端に抵抗力の弱い患者が使用する病院リネンは消毒が必要である。
- ③ セレウス菌が形成する芽胞は、熱には強いが、アルコールで容易に死滅させることができる。

[問題 14] 次のノロウイルスについての記述のうち、正しいものはどれか。

- 1 2020年のノロウイルスによる食中毒患者数は、年間食中毒患者数の7割を占めている。
- 2 ノロウイルスに係る吐物が付着したリネンは、吐物ごと75℃1分間の熱水洗濯を実施する。
- ③ ノロウイルスに係る吐物が付着した布団は、表面の汚物をペーパータオル等で取り除き、スチームアイロンで熱殺菌した後、布団乾燥機を使うと効果的である。

[問題 15] 次のインフルエンザについての記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① インフルエンザは、感染力が非常に強いため、従業者や経営者の家族がインフルエンザを発症した場合、本人が無症状であっても、出勤停止とする。
- 2 インフルエンザワクチン接種の目的は、発症する可能性を減らし、発症しても重症化を防ぐためである。
- 3 十分な休養とバランスの取れた栄養摂取により、体の抵抗力を高めることは、インフルエンザ予防に効果がある。

【問題 16】 次の廃棄物管理についての記述のうち、正しいものはどれか。

- 1 廃棄物の処理を処分業者に委託するときは、マニフェストの交付が義務づけられているが、収集運搬業者に委託するときはマニフェストは不要である。
- ② 廃棄物排出業者は、処理業者から処理終了のマニフェストを受け取ったときは、委託内容どおり適正に処理されたかを確認しなければならない。
- 3 特別管理産業廃棄物の処理を委託する場合、廃棄物の発生量にかかわらず、電子マニフェストを使用しなければならない。

【問題 17】 次のPRTR制度についての記述のうち、()にあてはまる語句の組合せとして、正しいものはどれか。

PRTR制度とは、化管法に基づく環境汚染物質の排出移動登録制度のことであり、有害性のある多種多様な化学物質が、どのような発生源からどのくらい(ア)のか、あるいは廃棄物等に含まれて(イ)のか、というデータを把握して、それを集計し、公表する仕組みである。

※化管法:特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律

(ア)

(イ)

- | | | |
|-------------|----|--------------|
| ① 環境中に排出された | —— | 事業所の外に運び出された |
| 2 人体に取り込まれた | —— | 無毒化した |
| 3 分解消失した | —— | 封じ込めが行われた |

〔問題 18〕 次の労働安全衛生法についての記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① ドライクリーニングで使用する石油系溶剤は、「第1種有機溶剤等」に該当するので、作業場所には発生源を密閉する装置を設置しなければならない。
- 2 石油系溶剤を使用したドライクリーニングの業務を行う事業者は、石油系溶剤を使う従事者に対し、特殊健康診断を実施しなければならない。
- 3 テトラクロロエチレンを使用したドライクリーニングの業務を行う事業者は、発がん性を踏まえ、作業記録を作成し、30年間保存しなければならない。

〔問題 19〕 次のプラスチック資源循環についてのクリーニング業界の取り組みのうち、誤っているものはどれか。

- 1 消費者に提供したプラスチックハンガーを回収し、消毒等を適切に行うことで、ハンガーの再利用を推進してきた。
- 2 ハンガーに使われている原料に再生プラスチックを利用することで、プラスチックの資源循環を推進してきた。
- ③ 衣類用カバーに使われているポリ包装は、薄肉化、軽量化を進めてきたことで、今後は、使用量の削減に取り組む必要もなくなった。

[問題 20] 次の有害化学物質による土壤汚染についての記述のうち、正しいものはどれか。

- 1 工場跡地の売却の際に、土地に高濃度の有害化学物質汚染が見つかったとしても、自然に分解されるので、土地が利用できなくなることはない。
- ② テトラクロロエチレンを使用していた工場の土地所有者などは、施設の使用廃止時点において土壤汚染を調査し、調査結果を都道府県知事に報告しなければならない。
- 3 土壤汚染調査の結果、人の健康被害が生ずるおそれがある土地であると認められても、都道府県知事は、汚染を除去する措置を指示することはできない。

洗濯物の処理に関する知識

[問題 21] 次の化学繊維についての記述のうち、誤っているものはどれか。

- 1 ナイロンは、ポリアミド系合成繊維の一般名であり、世界最初の合成繊維である。
- ② アセテートは、アクリルニトリルを重量比で85%以上含む合成繊維で、最も羊毛に似た性質を持っている。
- 3 ポリエステルは、耐熱性が優れている点が最大の特長で、熱セットでプリーツ加工などの熱処理がしやすい。

[問題 22] 次の石油系溶剤残留に起因する皮膚障害（化学やけど）についての記述のうち、誤っているものはどれか。

- 1 化学やけどを防ぐためには、石油系溶剤でドライクリーニングした衣類を十分に乾燥させる。
- 2 石油系溶剤が残留しやすい衣類として、合成皮革や肩パッド使用製品などがある。
- ③ 即日渡しシステムの導入や、においの少ない低アロマタイプの石油系溶剤の使用が原因となることはない。

[問題 23] 次のクリーニングの仕上げについての記述のうち、正しいものはどれか。

- ① 仕上げに必要な3つの条件は、湿気、熱、圧力である。
- 2 ドライ仕上げの最適な蒸気圧は、10MPaである。
- 3 上ごて蒸気は、品物をふくらませる効果があるので、柔らかく仕上がる。

[問題 24] 次の J I S L 0001 : 2014 で規定されている「繊維製品の取扱いに関する表示記号及びその表示方法」についての表のうち、() にあてはまる正誤の組合せとして、正しいものはどれか。

表示記号	表示記号の意味	正誤
	ぬれつり干し乾燥がよい	(ア)
	漂白処理はできない	(イ)
	ウェットクリーニング（通常の処理）ができる	(ウ)

- | | (ア) | (イ) | (ウ) |
|---|-------|-------|-------|
| 1 | 正 | 正 | 誤 |
| ② | 正 | 誤 | 正 |
| 3 | 誤 | 正 | 正 |

[問題 25] 次の染色堅ろう度についての記述のうち、誤っているものはどれか。

- 1 耐光堅ろう度試験は、光の作用による色の変化の程度（変退色）を評価するための試験である。
- 2 洗濯堅ろう度試験は、家庭での洗濯の作用による色の変化の程度（変退色）と、他の洗濯物への色移りの程度（汚染）を評価する試験である。
- ③ 摩擦堅ろう度試験は、重ね着などの衣料品同士のすれ作用による色の変化の程度（変退色）を評価する試験である。

〔問題 26〕 次の柔軟剤についての記述のうち、() にあてはまる語句の組合せとして、正しいものはどれか。

柔軟剤は自己乳化型の(ア)界面活性剤が成分で、これが繊維に吸着して(イ)効果を発揮して繊維を平滑にし、(ウ)を抑え、衣類を柔らかくふっくらした感触に仕上げる。

- | | (ア) | | (イ) | | (ウ) |
|---|------|----|-----|----|-----|
| ① | カチオン | —— | 加脂 | —— | 静電気 |
| 2 | アニオン | —— | 浸透 | —— | 摩擦 |
| 3 | カチオン | —— | 洗淨 | —— | 摩擦 |

〔問題 27〕 次の特殊クリーニングについての記述のうち、正しいものはどれか。

- 1 毛皮は、石油系溶剤又はテトラクロロエチレンを使用し、特殊な洗剤を添加して、汚れの状態、色や動物の種類などによってクリーニング時間を決める。
- 2 皮革は、コーンパウダーやソーダストなど、50～100メッシュの粉末に、洗剤と加脂栄養剤を含ませてタンブルし、汚れをパウダーに吸着させる。
- ③ 和服(着物)を手入れする方法である洗い張りは、着物をほどこき、反物状にして水洗いをした後、「湯のし」をして、仕立て直す方法である。

〔問題 28〕 次の芯地についての記述のうち、正しいものはどれか。

- 1 仮接着芯地は、水洗い、ドライクリーニングにも耐える。接着剤に、ポリ塩化ビニル系、ポリアミド系、ポリエステル系樹脂が使用される。
- 2 接着芯地は、芯地の必要なほとんどの衣服に使われており、フラシ芯地ともいう。
- ③ 織物芯地は、昔から使われてきた代表的な芯地であり、強度が大きく、ドレープ性がある。

[問題 29] 次のランドリー用助剤についての記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① メタ珪酸ナトリウムは、洗濯液を酸性に維持する働きがあり、洗剤の洗浄力を増強する。
- 2 CMC（カルボキシメチルセルロース）は、再汚染防止効果が優れ、洗濯物の白さが向上する。
- 3 次亜塩素酸ナトリウムは、低温で漂白効果があるが、高温では急激な分解が起こり、生地を損傷する。

[問題 30] 次のドライクリーニングにおける再汚染についての記述のうち、誤っているものはどれか。

- 1 再汚染とは、溶剤中の油性汚れや不溶性汚れが、クリーニング中に洗濯物に付着又は吸着されることである。
- ② 溶剤に溶け込んだ汚れを、フィルターで完全に除去できるため、フィルターを設置すれば、再汚染はない。
- 3 溶剤の反復利用による再汚染防止と洗浄力向上を目的として、あらかじめ溶剤にドライソープを添加する。

